

織田先生に ありがとう



1997年11月19日(水)

駒場エミナース

主催：早春の会

「織田先生にありがとう！」演奏会に寄せて

高 部 正
(元筑波大学教授)

織田久男先生の退職を記念し、教え子が集い演奏会が開かれます。教え子の皆さんが先生への感謝の気持ちの迸りとして行われるものです。まことに教師冥利につきるもので羨ましいかぎりです。

先生と私の初めての出会いは昭和39年、共に他校から都立目黒高校に赴任したときでした。芸術についての深い造詣を静かな口調で語られる京都市育ちの先生と同じ齢で音楽なら何でも好きだという私は急速に親交を深めました。じらい三十有余年、教育談義からワインの蘊蓄まで、音楽会はもとより観能に美術鑑賞にさらには京都の古刹巡りにと。

長い付き合いの中で感じたことは、先生の態度で一貫してあるのは何事にも「美」の追求をされるということです。常に一流を、本物をもとめられます。ご専門の音楽教育についても然りです。「美」の追求のない音楽教育は先生にとって教育ではないのです。私の目からは都立目黒高校の昭和42年NHK合唱コンクール全国第一位を初め、続いてのコンクール等における先生のご指導が如実にそれを物語っています。

以来の教え子の皆さんが今日「織田先生にありがとう！」演奏会を開きます。本物の教育の成果が見られることでしょう。

「隠れ生徒」からのメッセージ

早稲田大学グリークラブ

元学生指揮者 石田幸夫（新姓海老原）

それは、激しい衝撃でした。昭和42年のNHK合唱コンクール発表会の目黒高校のFM放送に私は突然立ちすくみ、動こうにも動けないのです。今までにない全く新しい演奏様式。次から次へと生まれ、溢れ出てくる音楽、その無限の広がり、即興性、それでいて決して全体を失わない、一音、一音が全体を予感させ、旋律線だけでフレージングをしてしまう、生きもののようにうねりながら、しかもすこしもバランスを失うことなく完全なる音楽として見事に完結する。フルトヴェングラー！いやそれ以上のものだ！なんという天才！それが織田先生の音楽との最初の出会いでした。（作曲家越谷達之助氏は絶賛され、私から借りた放送テープを全ての授業で学生に聴かせ、その他濱田徳昭（指揮者）、作曲家多田武彦氏なども絶賛。）

当時私はグリークラブの2年生でしたが、私の考えは「いつ退部しようか」ということだけ。織田先生の音楽を聴いて変わりました。「いつか、このような音楽をしてみたい」

大学4年に私は学生指揮者となり、石井欽作曲の「枯木と太陽の歌」の選曲に当たって、ピアノ伴奏者のことで織田先生に相談に伺いました。紹介された白井典子さんの伴奏と相俟って、作曲者自身が数年後の公式プログラムの上で「この枯木を素晴らしいものに仕上げてくれた」と絶賛されています。

早大交響楽団が世界学生オーケストラコンクールで優勝し、その特典としてカラヤンが早稲田で公開レッスンをしたことがありました。旋律線とフレージングのことなど技術的な指摘が多かったのですが、楽団員はなかなか理解できず、しかし私はカラヤンの知っていることの全てが理解できました。それらは織田先生の音楽の上ですべて学んだことでしたから。

あの放送以来、私に決定的、革命的な音楽上の啓示を与えて下さった織田先生を、私の勝手な一方的な思い入れから「音楽と心の師」とさせていただいています。「心の」というのは意外かもしれませんが、それは先生の音楽のもっている誰にもまねのできない音以外の「何か」のことなのです。「ひたむきさ」とか「やさしさ」「きびしさ」「愛情」とか「思いやり」とか「ヒューマニズム（人類愛）」といったらよいのか、とにかく「美しい何か」なのです。

織田先生の音楽に触れていなかったら、私はグリーを続けることも、勿論学生指揮者になることもなかったでしょう。ですから、先生は私の恩人であると同時にグリーの恩人でもある訳です。あれから30年になりますが、先生にお示し戴いた音楽はいまでもそのまま、私の宝となっています。本当に有り難うございました。

◆落合智子(ソプラノ 早春の会 8期) / 田中 純 (ピアノ 1期)
気ままに SEASONS(全5曲)より
作詞 松崎恵子 (8期)
作曲 稲見俊男

- 1 気ままに SEASONS
- 2 サヨナラの雪
- 3 春のあけぼの

◆渡辺さつき(バスーン 都立駒場高校卒業生) / 安藤由布樹(ピアノ 都立駒場高校卒業生)
バスーンとピアノのためのソナタ Op. 168
作曲 サン＝サーンス

◆橋本雅央 (テノール 6期) / 仲谷智子 (ピアノ 6期)
アヴェ・マリア
作曲 グノー
耳に残るは汝が歌声 オペラ「真珠取り」より
作曲 ビゼー
人知れぬ涙 オペラ「愛の妙薬」より
作曲 ドニゼッティ

◆宮里咲枝(ヴァイオリン 都立駒場高校卒業生) / 柴田乙雄(チェロ 都立駒場高校卒業生)
安藤由布樹(ピアノ 都立駒場高校卒業生)
アンティーク・ロマンス・民族舞踊風組曲
作曲 安藤由布樹

休憩

◆池田直樹(バス バリトン 3期) / 米倉邦子(ピアノ 7期)
海のソネットⅢ (初演)
作詞 中村 稔
作曲 池田一秀 (3期)
魔王
作曲 シューベルト
池袋デパート物語・ユーモレスク
作詞 池田直樹
作曲 ドヴォルザーク

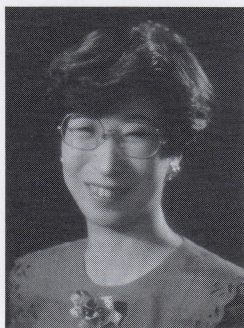
◆宮崎幸夫 (ピアノ 2期)
奥地の祭
作曲 エイトール・ヴィラ＝ロボス
密林の歌
作曲 カマルゴ ガルニエリ
オデオン
作曲 エルネスト ナザレ
ベム・カ・ブランキーニャ
作曲 エルネスト ナザレ

◆合唱団・早春の会 指揮 松田匡史(3期) ピアノ 仲谷智子(6期)
「心象スケッチ」全4曲
詩 宮沢賢治 / 作曲 高田三郎

- 1 水汲み
- 2 森
- 3 さっきは陽が
- 4 風がおもてで呼んでいる

「旅の途の風に」より
作詞 須田貢正 / 作曲 佐藤敏直

- 1 春のしぶき
- 2 晩秋の里で



落合 智子 (Sop.)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。田中泉，原口隆一，和田みのり各氏に師事。神奈川県立音楽堂推薦音楽会はじめ，1983年，1992年ジョイントリサイタル開催，オペラ「魔笛」(パミーナ)，埼玉博覧会にて青少年オペラによる「ヘンゼルとグレーテル」の母親役，「サウンド・オブ・ミュージック」(マリア先生)，「人買い太郎兵衛」(おもん)，創作オペラ「蝗」，「とんぼの羽根」，その他各種コンサートに出演。



田中 純

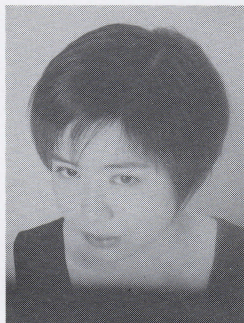
武蔵野音楽大学器楽科(ピアノ専攻)卒業，同大学専攻科修了。1983～1984ウィーン国立音楽大学に留学。稲葉公子，水本雄三，ロバート・ショルツ，ハンス・グラーフ，ヨゼフ・ディヒラーの各氏に師事。

「期待される音楽家のタベ」，ブラームスのハンガリア舞曲全曲演奏会，モーツァルトとブラームスの四手のための演奏会，モーツァルトとシューベルトの四手のための演奏会を経て，留学の際，ウィーンにてピアノデュオリサイタルを開く。帰国後，ピアノデュオリサイタルの他，各種のリサイタルの伴奏者として活躍。現在，文教大学教育学部教授。



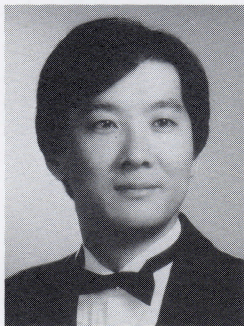
松崎恵子

立教大学文学部日本文学科卒業。三菱マテリアル(株)入社。
現在都立北療育医療センター勤務。



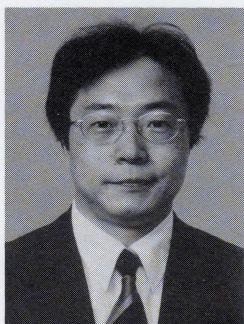
渡辺さつき

国立音楽大学卒業。菅原眸，霧生吉秀の両氏に師事。現在はビュッフェ・クラボン(株)楽譜課に勤務。



安藤由布樹

東京芸術大学作曲科卒業。作曲を、永富正之、黛敏郎、尾高惇忠、島岡譲に師事。1981年に渡仏、対位法とフーガ作曲法をミシェル・メルレに師事。奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第一位受賞。(受賞作品=歌曲集「海を背景にした3つの歌」) 1995年および97年、クロアチア国際シベニック音楽祭にて、声楽曲作品とバレエ音楽作品を自作自演。創作活動(作曲)と上演活動(音楽監督・ピアノ演奏)の両面を通じ、わが国における総合舞台芸術(バレエ、オペレッタ、ミュージカルなど)の音楽的な基礎固めと向上のために努力している。(社)日本作曲家協議会会員。日本音楽家ユニオン会員。作曲作品は、オペラ、オペレッタ、ミュージカル、バレエ、劇音楽、歌曲、合唱曲、室内楽曲などジャンルを問わず多方面にわたっている。



橋本^{まさお}雅夫 (テノール)

東京芸術大学卒業、同大学院独唱科を修了。中学校教諭勤務の後渡独、ミュンヘン音楽大学においてハンノ・ブラシュケ教授に学ぶ。ミュンヘン音楽大学定期演奏会での「シューベルトの夕べ」など多数ソロ出演、同じくミュンヘンでの演奏会形式による歌劇「カルメン」にホセ役での出演、フランクフルト音楽放送番組「ユージェントアルバム」でのソロ出演、バンベルク交響楽団との「天地創造」(ウリエル)による協演、ルチアーノ・パヴァロッティ氏のマネージャーより歌劇場の紹介を受ける、オスナブリュック歌劇場勤務、等々、9年間のドイツ滞在を終え、この度97年2月に帰国する。渡辺高之助教授、高橋大海教授に師事。



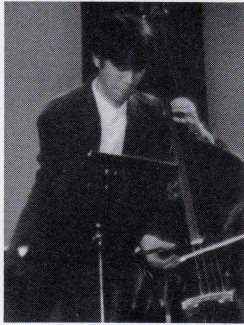
仲谷智子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。久富綏子氏、澤田紀子氏に師事。ピアノ教師、早春の会合唱団伴奏者。



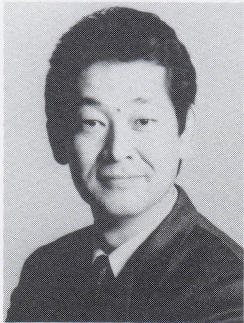
宮里咲枝

東京芸術大学卒業。中村理平、萩原耕介、山岡耕筈、兎束龍夫、阿部靖の各氏に師事。芸大在学中より(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団団員として演奏活動を開始し、退団後アルビノーニ室内合奏団団員、グループCOM会員。地域の音楽振興のためのボランティア活動として「華コンサート」に企画、出演。恵泉女学園非常勤講師、三室戸学園東邦高校、及び東邦音楽学校非常勤講師として後進の指導にあたる傍ら、ソロ・室内楽等に幅広く出演。



おとお
柴田乙雄

桐朋学園大学卒業。故小野崎充氏に師事。1990年新日本フィルハーモニー交響楽団にコントラバス奏者として入団。現在に至る。



池田直樹 バス・バリトン（二期会会員）

東京芸術大学卒，同大学院修了

中山悌一，小島琢磨，ハンス・ホッターの各氏に師事。

第10回東京国際コンクール2位受賞。第7回ジロー・オペラ賞受賞。

1980～81年，文化庁芸術家在外研修員としてミュンヘンへ留学。

オペラでは、「フィガロの結婚」「コシファントゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」等のモーツァルトの作品を中心に、「ローエングリン」「タンホイザー」「ジークフリート」等，ワーグナーの作品にも重厚な役で出演した他，「こうもり」「メリーウィドー」「チャールダーシュの女王」等の，ウィンナー・オペレッタの公演に於いては，軽妙な演技で喝采を浴びる等，様々な役柄を巧みに演じ分け，評価は高い。

独唱会も，1976年のシューベルトの「冬の旅」を最初に，同じくシューベルトの「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」，シューマンの「詩人の恋」，バッハの「カンタータの夕べ」等で，回を重ねている。また，在京，地方の主要なオーケストラに招かれ，多くの宗教的作品や，ベートーヴェンの「第9交響曲」等の独唱を務めた他，NHKのFM放送や，創作テレビオペラにも多数出演し，いずれも好評を得ている。

また，サロンコンサート等の，独自の多彩な企画でも注目を集めているが，近年，オペラの制作者，演出家としても活躍し，「サムソンとデリラ」「奥様女中」「魔笛」等の作品を制作した他，1991年，1995年の，「チャールダーシュの女王」の公演に於いては，台本，作詞，演出を手掛け，さらに1996年に，「コシファントゥッテ」，1997年には，二期会公演「フィガロの結婚」を演出し，独創性の高い新鮮な舞台により，演出家としても注目を集めている。

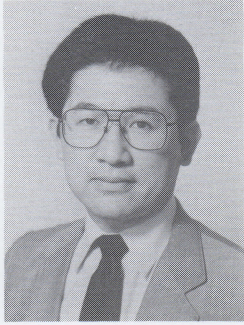


米倉邦子

国立音楽大学卒業。横田和子，故田中希代子，霧生トシ子の各氏に師事。

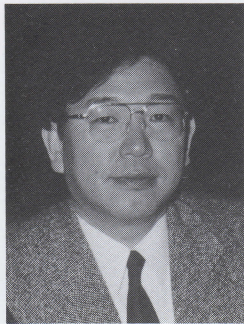
第20回ワイマール国際音楽ゼミナールにて，アマデウス・ウェーバー・ジンケ氏に志賀国際音楽祭にて，ピーター・フォイト・ベンガー氏に師事。

新星日本交響楽団，マイクロコスモス室内合奏団，東京メロス合奏団と協演。ブルース・カイトコンサートや霧生トシ子氏主宰のポアソンブルーコンサートに出演，デュオや室内楽に意欲的に取り組んでいる。



池田一秀

- 1950年川崎市生まれ
- 1978年武蔵野音楽大学大学院（作曲）修了
- 現在武蔵野音楽大学講師
- 主要作品：歌曲集「けものたち」、吹奏楽のためのバラード 等



宮崎幸夫

（ピアニスト）

幼少より、小林孝典、織田久男各氏に師事。

1973年 武蔵野音楽大学ピアノ科卒業 同大学で辛島仔緒子、田村明子、各氏に師事。専攻科修了後、同大学講師となる。

1976年～1979年 パリ留学。ヴィラ・ロボスの親友であり、G.フォーレ、A.コルトーの高弟でもあるピアニストM.タリアフェロに師事し、その才能を認められ、マスタークラスの助手として務める。

1978年 80年、83年、パリにてリサイタル。

1979年 ブラジルピアノコンクール第1位。（パリ）

1981年 フランス、ブラジル各地で演奏。

1987年 ブラジルでのヴィラ・ロボス生誕100年フェスティバルに招かれ演奏。

1994年 ブラジル（リオ・デ・ジャネイロ、ポルトアレグレ、サン・パウロ）においてリサイタルを行い、T.V.ラジオ放送に出演する。

特にヴィラ・ロボスの演奏では、高く評価されており、リオ・デ・ジャネイロ州立音楽大学において、客員教授として講演を行う。1996年ブラジル（サン・パウロ リオ・デ・ジャネイロ）に招かれリサイタルを行う。最近では、ブラジルでE.NAZARETHの演奏会でも人気を増している。

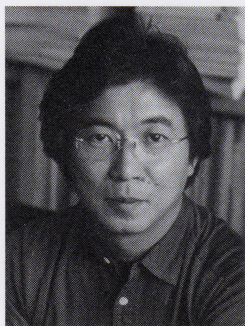
日本では1980年以来、定期的に各地でリサイタルを開催し、講座及び演奏をすでに全国40都市以上で行っている。

主な出版書

- 「ヴィラ・ロボス ピアノ曲集」1, 2, 3, 4, 5（カワイ出版）
- 「エルネスト・ナザレ ピアノ曲集」（カワイ出版）
- 「エルネスト・ナザレ ピアノ小品集」（ドレミ楽譜出版）

CD録音

- 「ヴィラ・ロボス こどものためのピアノ曲集」
- 「宮崎幸夫ピアノリサイタル92ラヴェル、アルベニス、ヴィラ・ロボス」
- 「宮崎幸夫ピアノリサイタル94ブラームス、ヴィラ・ロボス」
- 「ナザレ タンゴブラジレイロ」以上（ビクターエンタテインメント）
- 「エルネスト・ナザレ ブラジル舞曲集」（ドレミ）



松田匡史

1950年、東京生まれ。ピアノを織田久男、音楽理論を高田三郎、厳格対位法と作曲をトーマス・マイヤー＝フィーヴィヒ、声楽を平野忠彦、音楽教育学を山本文茂の諸氏に学ぶ。とりわけ、織田久男氏から音楽全般にわたって深い薫陶を受けた。1974～1996年、カトリック初台教会聖歌隊指揮者。最近は、公開講座講師、インタビュアー、文筆活動なども行っている。現在、東京都狛江高等学校教諭。日本音楽教育学会会員。

早春の会合唱団

ソプラノ	アルト	テノール	バス
今村 映子	金山 園枝	井上 実	大草 信夫
岡本 和江	岸 道子	樋口 孝	加藤 修司
織田 和子	佐藤えり子	保科 博史	仲本 宗一
田中えつ子	塩澤 公子	村井 信吾	平部 正和
田中真知子	城 直美		
中本 幹子	平田 洋子		
西川 文恵	平部美枝子		
花原真理子	松田 道子		
松田 孝子	山岸美江子		
松本久美子			
村上 紀子			

常任指揮者	松田 匡史	団 長	平部 正和
コンサートマスター	井上 実		
ヴォイストレーナー	松本久美子		
ピアニスト	仲谷 智子	事務局	城 直美

1992年	早春の会の有志で結成
1994年11月	都民合唱コンクール・小ホール部門第一位
1996年10月	都民合唱コンクール・小ホール部門第一位
1997年12月	東京文化会館主催「合唱の歓び」に出演予定